

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 29 年 3 月 16 日 (2017.3.16)

【公表番号】特表 2016-515021 (P2016-515021A)
 【公表日】平成 28 年 5 月 26 日 (2016.5.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-032
 【出願番号】特願 2016-501382 (P2016-501382)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 17/34 (2006.01)

A 6 1 M 31/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/34

A 6 1 M 31/00

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 2 月 13 日 (2017.2.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

植え込み式医療装置 (10) を皮下組織に植え込むのに使用するための皮下植え込み用具であって、当該皮下植え込み用具は、

用具本体であって、近位端から遠位開口部に終端するチャンネルを画定している遠位端まで延びているハンドル (100) を備え、前記チャンネルは前記植え込み式医療装置を受け入れるように構成されている、用具本体と、

植え込み式医療装置を沿わせて前進させることのできるトンネルを現出させるべく前記皮下組織の鈍的切離に適した構成をしている、前記ハンドルの前記遠位端から延びている細長いトンネル作成部 (104) と、

近位端及び遠位端を備えるプランジャ (300) であって、前記遠位端は前記ハンドルによって画定されている前記チャンネル内で、植え込み式医療装置が前記チャンネルに受け入れられたときに当該植え込み式医療装置を、前記遠位開口部 (108) を通し、前記トンネル作成部に沿って、前記皮下組織に現出させた前記トンネルを通して前進させてゆくように可動である、プランジャ (300) と、
を備えている、皮下植え込み用具。

【請求項 2】

前記植え込み式医療装置は、その長さに沿って近位端から遠位端まで延びている装置本体を備えており、更に前記細長いトンネル作成部は前記ハンドルの前記遠位端から或る長さに沿って延びており、前記細長いトンネル作成部の前記長さは、前記ハンドルの前記チャンネルに受け入れ可能な前記植え込み式医療装置の前記長さより大きい、請求項 1 に記載の用具。

【請求項 3】

前記植え込み式医療装置は、その長さに沿って近位端から遠位端まで延びている装置本体を備えており、前記ハンドルの前記チャンネルは、前記ハンドルに前記植え込み式医療装置が受け入れられるときに当該植え込み式医療装置の全体長さを当該ハンドル内に受け入れるように構成されている、請求項 1 又は請求項 2 に記載の用具。

【請求項 4】

前記チャンネルは少なくとも下側面によって画定されており、更に、前記ハンドルの更に前記チャンネルを画定している少なくとも上側部分は、前記植え込み式医療装置が前記チャンネルの中へ適正に挿入されていることの視覚的確認を可能にさせる１つ又はそれ以上の開口部を提供している、上記請求項の何れか一項に記載の用具。

【請求項５】

前記植え込み式医療装置は、軸に沿って近位端から遠位端まで延びている装置本体を備え、前記装置本体は当該装置本体の或る長さに沿って延びている外側面構成を備えており、前記ハンドルの前記チャンネルは、前記装置本体の前記外側面構成に対応するように及び前記植え込み式医療装置が前記チャンネルに受け入れられたときに前記装置本体の１つ又はそれ以上の形体に係合するように画定されている、上記請求項の何れか一項に記載の用具。

【請求項６】

前記ハンドルの前記チャンネルは、前記装置本体の前記外側面構成に対応するように及び前記植え込み式医療装置が前記チャンネル内に受け入れられたときに当該植え込み式医療装置の当該チャンネル内での回転を防止するように画定されている、請求項５に記載の用具。

【請求項７】

前記ハンドルの前記チャンネルは、前記装置本体の前記外側面構成の複数の角に対応するように及び前記植え込み式医療装置が前記チャンネルに受け入れられたときに前記複数の角の１つ又はそれ以上に係合するように画定されている、請求項５に記載の用具。

【請求項８】

前記ハンドルは、当該ハンドルによって画定されている前記チャンネルの中への前記ブランジヤの前記遠位端の挿入を可能にさせるように構成されている、前記ハンドルの前記近位端の開口部と、前記ブランジヤの相手方突起に対応する突起であって、前記ブランジヤの前記遠位端を前記ハンドルの前記近位端の前記開口部の中へ前記ハンドルに対して或る特定の配置向きでしか挿入できないように前記開口部の中へ延びている突起と、を備えている、上記請求項の何れか一項に記載の用具。

【請求項９】

前記ハンドルは、前記遠位開口部に終端するチャンネル軸に沿って長手方向に延びているチャンネルを画定しており、前記細長いトンネル作成部は、前記チャンネル軸と同じ方向に横たわる軸に沿って延びている長手方向に延びる細長いトンネル作成部本体を備えている、請求項１に記載の用具。

【請求項１０】

前記チャンネル軸と同じ方向に横たわる軸に沿って延びている長手方向に延びる細長いトンネル作成部本体は、テーパ端に終端している、請求項９に記載の用具。